

## 推薦書記入要領

### 1. 技術の名称

技術内容が端的にわかるように、簡潔な名称をつけて下さい。商品名はご遠慮下さい。  
(過去の表彰技術の名称を参考にして下さい。)

### 2. 研究者

当該研究を生み出した人を1名記入して下さい。グループ研究の場合は、中心的役割を果たした人1名となります。(中心的役割を果たした研究者以外の方の同意書を後日提出して頂くこともありますので、ご承知おき下さい。)

### 3. 企業化開発を実施した企業および代表者

複数企業による共同開発の場合には、代表企業を選定して頂き記入して下さい。この場合、代表とならなかった企業の同意書を添付して下さい。また各社の役割分担表も併せ添付して下さい。

代表者は、原則として社長とします。

### 4. 推薦理由

本技術開発のもつ意義等を勘案して記載して下さい。

### 5. 連絡先

本件の内容をよく知っていて、常時連絡できる責任者を記入して下さい。

### 6. 推薦者

本技術における深い知識を有する方であれば、自薦・他薦および役職は問いません。

### 7. 技術の概要

目的、原理・構造、機能・特徴等の要点を記載して下さい。

### 8. 研究、開発、企業化の時期及び経緯、研究者と企業の役割

研究、開発、企業化の時期については西暦で記載して下さい。技術移転・協力関係(研究者と企業の役割分担)を明らかにして下さい。

### 9. 研究・技術の独創性

「7.」で記載した技術の概要のうち、本技術が独創的である点、他の技術と比較しつつ当該技術が卓越した点について記述して下さい。

例えば、新物質の創製、新原理・新現象の発見等に属するものであるか、あるいは既知の事象であっても新しい着想に基づく応用展開に属するものであるか等、内外の同種技術(機能または応用目的が類似するもの)と対比しつつ、わかりやすく記載して下さい。

10. 科学技術の進展への寄与

本技術の属する分野の科学の発展や技術水準の向上への効果（新分野の開拓、新機能の創出、性能向上等）、さらに他の分野への波及効果について記載して下さい。

11. 企業化状況

実質的販売活動を開始して以降の販売実績（数量、金額）、市場占有率をわかる範囲で年度別に記入して下さい。なお、本技術に係わる製品を装置等に組み込んで販売した場合は、当該製品についてのみ記入して下さい。また、市場占有率を明確に算出できない場合は、本技術の適用が期待される市場に対する本技術の普及率等、企業化の状況を適切に表せるよう記入して下さい。さらに、近い将来の見通しにつきましても記載して下さい。不明な場合や詳細につきましては、後日調査員が伺いますので、ご協力をお願いいたします。

12. 快適な社会の形成、経済の発展、健康福祉の向上等への貢献

快適な社会の形成、経済の発展、健康福祉の向上等への貢献について記載して下さい。また、技術輸出等の実績があれば付記して下さい。

13. 過去における受賞

本技術に関して過去の受賞を記入して下さい。なお、過去、井上春成賞に技術応募された場合は、応募年度（西暦）と技術の名称を記入して下さい。

14. 学術論文等

研究者の本技術に関して最も重要と思われる論文につき、下記の情報を記載して下さい。全著者名：“論文タイトル”，論文誌名，Vol. xx, No. yy, pp. zz1-zz2, Month, Year. また、関係する重要論文のリストを、5件以内で上記フォーマットにて添付して下さい。

15. 産業財産権

本技術に関する特許がある場合は、基本的な特許1件について、番号、名称、発明者、出願人、出願日、登録日を記入して下さい。

また、関係する産業財産権についても上記要領で記入し、書ききれない場合は一覧表を作成して添付して下さい。特に、本技術における産業財産権の役割等の関係については、図式化又は明記して下さい。

（注）フォントサイズは10.5以上を使用して下さい。